大阪ガスのお問い合わせ先

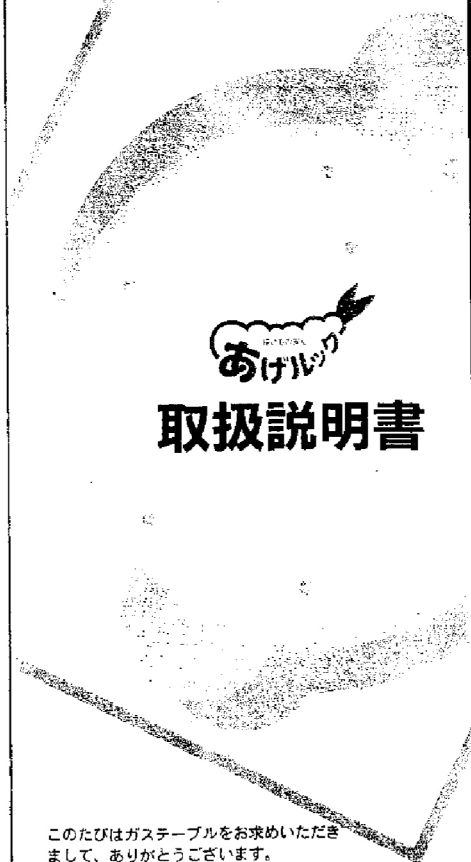
大阪事業本部	〒550-0023	大阪市西区千代崎3丁目南2-37	☎大　阪 06(586)1122
南部事業本部	〒590-0973	堺市住吉橋町２－２－１８	☎堺　0722(38)1131
和歌山支社	〒640-8033	和歌山市本町１－５	☎和歌山0734(31)2481
北東部事業本部	〒578-0925	東大阪市稲葉２－３－１７	☎河　内0729(62)1131
北部事業所	〒569-0025	高槻市藤の里町３９－６	☎高　槻0726(71)0361
奈良支社	〒631-0036	奈良市学園北２－４－１	☎奈　良0742(44)1111
兵庫事業本部	〒650-0044	神戸市中央区東川崎町1-8-2	☎神　戸078(360)3100
姫路支社	〒670-0836	姫路市神屋町４－８	☎姫　路0792(85)2221
豊岡支社	〒668-0047	豊岡市三坂町６－５７	☎豊　岡0796(23)2221
京滋事業本部	〒600-8815	京都市下京区中堂寺粟田町１	☎京　都075(311)7381
滋賀支社	〒525-0037	草津市西大路町５－３４	☎草　津077(562)5311
滋賀東支社	〒522-0074	彦根市大東町１２－１１	☎彦　根0749(22)3131
長浜営業センター	〒526-0058	長浜市南呉服町３－４	☎長　浜0749(62)7171
本　社	〒541-0046	大阪市中央区平野町4-1-2	☎大　阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社

おねがい　ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）もよりの大阪ガスまたは、大阪ガスサービスショップにご連絡ください。

18 71853　　98.06.(00).C

ガステーブルコンロ
品番 10-866
10-867



取扱説明書

このたびはガステーブルをお求めいただきまして、ありがとうございます。

大阪ガス

型式名：PA-2200CEB
PA-2200CEB-L

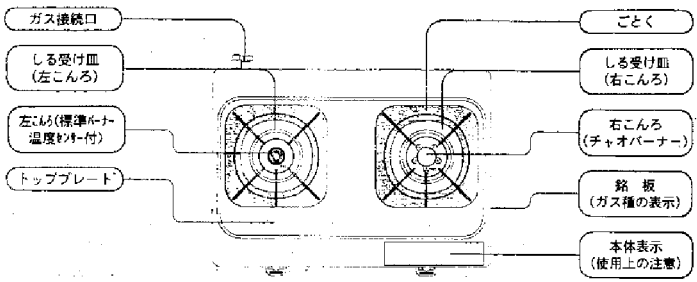
●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
●この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。

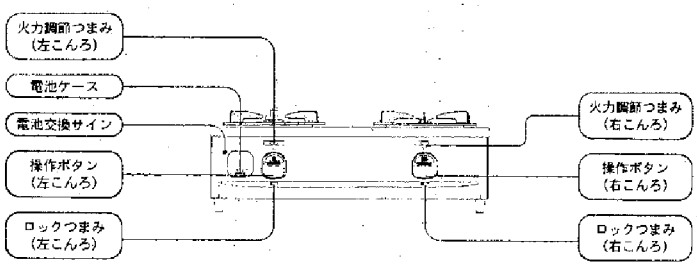
別添の保証書はこの取扱説明書とともに、大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は裏表紙に記載のお近くの大阪ガスまでお問い合わせください。

各部のなまえ……1		
必ずお守りください……2		
設置について……6		
使いかた……9		使いかた
点検とお手入れ……14		点検とお手入れ
故障かな？と思ったら……16		故障？
保管とアフターサービス…17		アフターサービス
別売部品のご紹介……18		
仕様……18 P		

各部のなまえ

取扱説明書の図は10-867型のご紹介となっております。
10-866型はチャオバーナーが左、標準バーナーが右に付いています。





あけルン 天ぷら油過熱防止機能付

標準バーナーには天ぷら油の過熱を防止するために温度センサーが付いています。温度センサーが約250℃になると自動的にガスを止めます。

必ずお守りください

（安全に正しくお使いいただくために）

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示について次のような意味があります。

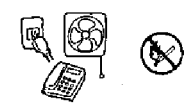
一般的な禁止　分解禁止　火気禁止

接触禁止　必ず行う

⚠危険

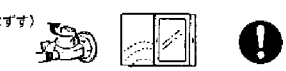
■ガス漏れ時の使用厳禁

ガス漏れに気付いたときは、大阪ガスの処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり、電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない



➡炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める
（つまみのないガス栓の場合は、ガス栓から接続具をはずす）
②窓や戸を開け、ガスを外へ出す
③お近くの大阪ガスまで連絡する



必ずお守りください

⚠警告

■分解禁止

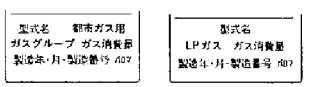
修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わない
➡発火したり、異常作動してけがの原因となります。

■使用ガスについて

機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）の適合を確認する
➡表示のガス種が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガス種が一致しているか確認してください。

おわかりにならない場合または合っていない場合はお買い上げの販売店かお近くの大阪ガスまでご連絡ください。

ガス種を確認する



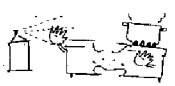
■火災予防

機器の周囲に可燃物（カーテン、新聞紙、紙袋など）や引火物（スプレー缶など）を置かない、近づけない
＊機器の下に新聞紙やビニールシートなどの可燃物を敷かないでください。
➡火災の原因になります。
スプレー缶の場合は熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発するおそれがあります。

火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない
➡火災の原因になります。

火をつけたまま機器から絶対にはなれない
➡料理中のものが焦げたり燃えたりして火災の原因になります。

機器の周囲ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを使用しない
➡火災の原因になります。



■やけどに注意

使用中・使用直後は機器を移動させない
➡こんろ上の調理物などが倒れてやけどをするおそれがあります。

■消火の確認

使用後は消火を確かめる

⚠警告

■ガス接続

ゴム管はガス用ゴム管（検査合格マークまたはJISマークの入り）を使用し、赤線まで差し込んでゴム管止めでしっかり止める

ガスコードご使用の場合は、スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って、正しく接続する

①継ぎ足しや二又分岐は絶対にしない
②機器のうえや下を通さない
③他の熱源などの高温部に触れない
④折れ、ねじれ、引っ張りなどのないようにする
⑤接続口に汚れやごみがないようにする

➡正しく接続されないとガス漏れや差し込み口がゆるくなってガス漏れの原因になります。

ゴム管はときどき点検して取り替える
➡古くなるとひび割れや差し込み口がゆるくなってガス漏れの原因になります。

■異常時の処置

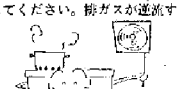
①点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音を感じた場合、使用途中で消火した場合は迅速に使用を中止し、ガス栓を閉める（つまみのないガス栓の場合は、ガス栓から接続具をはずす）
②「故障かな？と思ったら」（16ページ）に従い処置する
③上記の処置をしても直らないときは使用を中止し、お買い上げの販売店かお近くの大阪ガスまで連絡する

地震、火災などの緊急の場合は、迅速に使用を中止しガス栓を閉める

⚠注意

■換気に注意

閉めきった部屋で長時間使用しない
使用中は窓を開けるか換気扇を回す
➡他の燃焼機器と同時に使用する場合、一酸化炭素中毒の原因になります。
＊ただし、自然排気式給湯器およびふろがまを使用している場合は、換気扇を回さず窓などを開けて換気してください。排ガスが逆流することがあります。



■用途について

調理以外の用途には使わない
➡過熱・異常燃焼による焼損や火災の原因になります。

こんろを覆うような大きな鉄板類やなべは使わない
➡不完全燃焼や機器の異常過熱、ごとくの変形の原因になります。

ごとくをはずしてなべなどを直接こんろにおいて使わない
➡不完全燃焼や機器損傷の原因になります。

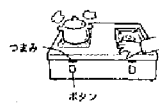
ごとくに安定してのるなべを使用する
➡底がすべりやすいなべ、径の小さいなべなど不安定なべは使用しないでください。傾いてやけどのおそれがあります。

必ずお守りください

⚠注意

■やけどに注意

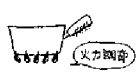
使用中や使用直後は操作部(つまみ・ボタン)以外は触らない
➡機器本体とその周辺および調理用具が熱くなるため、やけどをするおそれがあります。
＊特に小さなお子様がいる家庭では注意してください。



使用中はバーナー付近に触れないように注意する
➡衣服に炎が移ったりする場合があります。

点火操作時はバーナー付近に顔を近づけ過ぎない
➡熱や炎でやけどをするおそれがあります。

強火で使用する場合、なべの取っ手に炎があたらないように火力を調節する
➡やけどのおそれやなべの取っ手の破損の原因になります。



この機器の点火装置以外の方法（マッチ、点火ライターなど）では点火しない
➡やけどをするおそれがあります。

■子供に対する注意

幼児や小さな子供に触らせないように注意する
➡思わぬ事故の原因になります。

■補修用性能部品および補助具について

補修用性能部品および補助具は当社の指定以外のものは使わない
➡当社の指定以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

しる受け皿の上に市販のアルミ箔製のしる受け皿をのせない
➡異常燃焼のおそれがあります。また、ごとくも高温になり腐食するおそれがあります。

■不安定な場所での使用禁止

車両や船舶などの不安定な場所で使用しない
➡事故や故障の原因になります。

おねがい　この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。

設置について

1部品のセット

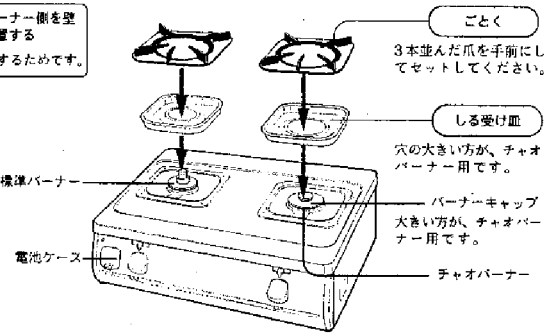
①箱から機器を取り出し、あて紙や梱包部材やテープを取り除く

②同梱部品の確認をする

③各部品をセットする

※図は、10－867型（チャオバーナーは右側、標準バーナーは左側）で表示しています。
10－866型はチャオバーナーが左側に、標準バーナーが右側になります。

⚠警告 標準バーナー側を壁側に設置する
＊壁側の火災を防止するためです。



バーナーキャップのセット

バーナーキャップ上面の▽印を手前にして突起を切り欠きにはめる

⚠注意
浮き・傾きのないようにセットする
➡不完全燃焼や火災の原因になります。

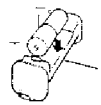
しる受け皿のセット

あなの大きい方をチャオバーナー(大きい方のバーナー)側に、小さい方を標準バーナー側にセットする

⚠注意
左右前後を間違えないように正しくセットする
＊特にチャオバーナー側にあなの小さい方のしる受け皿をセットしないでください。
➡不完全燃焼や火災、故障の原因になります。

乾電池のセット（単1形 1.5V 2個）

①電池ケースのツメを上げながら手前に引く



②乾電池を＋側を手前にして入れる

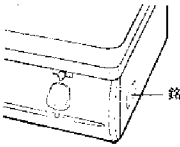
③電池ケースを奥までしっかり入れる

おねがい
乾電池は新しいものと古いもの、または違う種類のものを混ぜて使わないでください。
寿命が短くなりますし、乾電池が破裂することがあります。

設置について

2 ガス種の確認

①ご家庭のガスの種類と機器の銘板に表示されている
ガスの種類が合っているか確かめる
②合っていない場合は設置をやめて、お買い上げの販
売店か大阪ガスまで連絡する



3 設置場所

一酸化炭素中毒や火災、やけどの原因となりますので正しく設置してください。

⚠警告　下記の条件を満たしている場所をお選びください。

- ●換気が良い
- ●水平で安定している
- ●落下物の危険がない
- ●周囲に可燃物がない
- ●風が吹き込まない
- ●水や熱がかからない

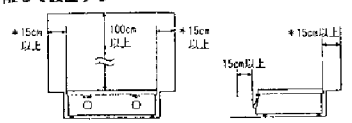
4 防火措置

各地の火災予防条例に従って防火措置を行ってください。

⚠警告　ステンレス板や薄いタイルなどの不燃材を可燃性の壁に直接貼り付けた場合でも、下記①、②、③の防火措置を必ず行う
➡伝熱により長年の間に可燃物が炭化し、火災になることがあります。
＊設置後に、機器の周囲の改装（吊り戸棚をつけるなど）をする場合も設置基準をお守りください。

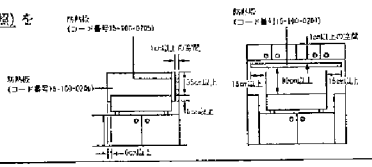
① 可燃物（壁、棚など）から十分離して設置する

＊トッププレート上方の周囲



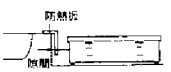
② ①の条件を満たせない場合は防熱板を取り付ける

別売の防熱板（詳しくは18ページ参照）を図のように取り付けてください。



③ 流し台の上面の防火措置をする

周囲の可燃物から15cm以上離して設置できる場合でも、トッププレートと流し台などの上面がほぼ同一のときは防熱板（コード番号：15-100-0105）で保護してください。

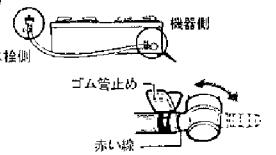


5 接続のしかた

ゴム管接続の場合

用意するもの：φ9.5mmガス用ゴム管（新品）1本　ゴム管止め2個
（都市ガス用とLPガス用があります。
お使いのガスに合わせてお選びください。）

①ゴム管を機器に触れないように適切な長さに切る
②両方のゴム管口の赤い線までゴム管を差し込みゴム管止めで止める
③ガス栓を開け接続部からガスの臭いがしないことを確かめ、ガス栓を閉める

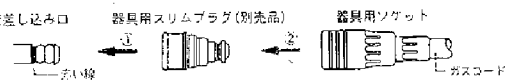


ガスコード接続の場合

＊ガスコードを接続する場合は、ガス栓側が迅速継手（コンセント継手）になっていないと接続できません。
従来のガス栓（ホースエンドタイプ）で使用する場合は、別売のホースガス栓用プラグが必要です。
まちがった接続をした場合、ガス漏れの原因となり危険です。

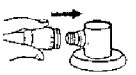
ガス機器側の接続

①下図のように、まず別売の器具用スリムプラグを機器のゴム管差し込み口に取り付ける
②次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに"カチッ"と音がするまで差し込む
（器具用スリムプラグ梱包台紙の裏面に記載してある取扱説明書に従ってください。）



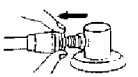
ガス栓側の接続（ガスコンセントの場合）

①ガス栓を開けるとき



コンセント継手を"カチッ"と音がするまで確実に差し込む
●コンセント継手を差し込むとガスが開きます。

②ガス栓を閉めるとき

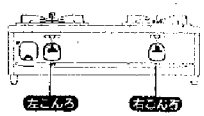


コンセント継手のすべりリング（白色）を手前に引く
●コンセント継手がはずれるとガス栓が閉まります。

使いかた

1準備

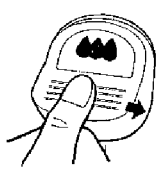
■ロックつまみの位置



①操作ボタンが押されていないことを確かめる
②ガス栓を全開にする
③ロックつまみを左に動かしてロックを解除する

おねがい
●ロックされたまま操作ボタンをムリに押したり、使用中にロックつまみを動かすと故障の原因になります。

2点火



カラーサイン：赤

①操作ボタンをゆっくりいっぱいまで押し、
そのまま数秒間押し続ける

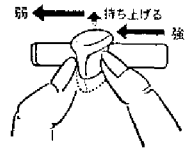
●ボタンはいっぱいまで押さないと点火しません。
●パチパチと音がして点火します。(左右のこんろ同時に放電)
●火力調節つまみが弱火側にあるときに点火操作すると、つまみは強の方向へ（中ほどの位置まで）自動的に移動します。

②手を離しても点火していることを確認する

●カラーサインは操作ボタンの状態を示します。操作ボタンが押してあるときは「赤」に、押していないときは「白」に変わります。

おねがい
●なべに付いた水滴はふき取ってからごとくにのせてください。余分な熱が必要になるうえ、水滴がバーナーに落ちて目づまりし、点火不良になることもあります。
●なべをごとくにのせてから点火した方がより点火が確実になります。
●手を離すと消火する場合は押し時間の不足です。操作ボタンを戻して周囲にガスがなくなるのを待ってから、再度点火操作し、押し時間を長くしてください。
●初めて使うときやしばらく使わなかったときなど点火しにくい場合があります。ゴム管内に空気が入っているためです。繰り返し点火操作してください。

3火力調節



①炎を見ながらつまみをゆっくり動かす

●強火から弱火にするとき、つまみは中ほどでいったん止まります。さらに弱火にするときは少し持ち上げて左に動かしてください。
●最初から持ち上げた状態で、勢いよくつまみを「強」から「弱」に動かすと、消火することがあります。
●使用中もときどき燃焼を確かめてください。

4消火

カラーサイン：白

①操作ボタンを押す
●消火を確かめてください。

②ロックつまみを右に動かして
操作ボタンをロックする
●小さなお子様のいたずら防止にご利用ください。

③ガス栓を閉める
＊燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

立消え安全装置が作動したときの処置方法

立消え安全装置とは風や煮こぼれなどで炎が消えたとき、自動的にガスを止める装置です。
炎が消えてからガスが止まるまでしばらく時間がかかります。

[redacted]

すぐに操作ボタンを押して消火状態にしてください。

[redacted]

窓や戸を開けて換気をし、周囲にガスがなくなるのを待ってから点火操作してください。

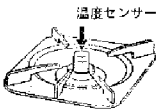
揚げものは必ず温度センサー付バーナーを使う

標準バーナーには
天ぷら油過熱防止機能が付いています。

天ぷら油は油の温度が非常に高くなると、直接火が入らなくても発火します。
天ぷら油過熱防止機能とは温度センサーが常になべ底の温度を見張り、天ぷら油が、過熱による発火をする前に自動的にガスを止める機能です。

マークが貼ってある方のバーナーです。

⚠警告 揚げもの調理をする場合は必ず温度センサー付バーナーを使用する
＊火災予防のためにお守りください。



天ぷら油過熱防止機能のはたらき

温度センサーをなべに密着させることによりなべの熱が伝わります。

温度センサーの温度が約250℃になると自動的にガスを止めます。

天ぷら油過熱防止機能が作動したときの処置方法

①まず、操作ボタンを押して消火状態にする
②再度使うときは油の温度が適温になるまでそのまま待つ
＊温度センサーが付いていても火を付けたままにしておくと油は調理に適さない高い温度になってしまいます。

●揚げもの以外の調理の場合なべ底の形や調理によっては温度センサーが高温になり、消火します。このようなときはチャオバーナーをお使いください。

温度センサーを正しく作動させるためにお守りください

お守りいただけなければ天ぷら油の過熱による発火を防止できないことがあります。

⚠警告

■揚げもの調理には200mℓ以上の油を入れる
調理中も常に200mℓ以上の油量を保ってください。

■温度センサーに適したなべを選ぶ　○…適する　△…注意しながら使用する　×…適さない

なべなどの種類	油料理	その他の料理（煮物など）	備考
鉄、アルミ製 なべ　天ぷらなべ　フライパン	○	○	調理油の量が200mℓ以下の場合、発火することがあります。
ステンレス、ホーロー製 なべ　フライパン	×	○	調理油の量が200mℓ以上でも、なべ底の構造や凸凹によっては、発火することがあります。
中華なべ　打ち出しなべ	×	○	
耐熱ガラスなべ　土なべ　圧力なべ	×	△	油料理には適していません。発火することがありますので使用しないでください。
焼網	／	×	消火することがあります。

■なべの重さは調理物を含んで300g以上とし、なべ底の中心を温度センサーの頭部に密着させる

なべ底と温度センサーの間には隙間や異物がないようにしてください。また、安定性の悪いなべは使用しないでください。

⚠注意

温度センサーに強いショックやキズを与えない

温度センサーが故障する原因となります。

温度センサーはいつも清潔にしておく

汚れると温度センサーが温度を感知できなくなります。
汚れたときはやわらかい布で拭いてください。

（お手入れ方法15ページ参照）

温度センサーが上下に動くか確認する

温度センサーを押してみてスムーズに上下に動くか確認してください。
温度センサーの動きが悪いと機能が正しく働かない場合があります。お手入れしても温度センサーの動きが悪いときはお買上げの販売店かお近くの大阪ガスまでご連絡ください。

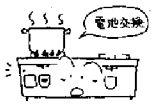
温度センサー付バーナーを使うとき

温度センサー付バーナー使用時のおねがい

■途中で消火してしまったとき

温度センサー付バーナーは温度センサーが約250℃になると消火するしくみになっています。そのためなべが温度センサーに接触していなかったり、調理によっては途中で消火してしまう場合があります。温度センサーに正しく接触しないなべや耐熱ガラスなべ、土なべや焼網、ウィンナー炒めや炒りものなどの調理には、チャオバーナーをお使いください。

■電池交換サインが点灯したら乾電池を交換する



温度センサー付バーナー使用中にサインが点灯したら…
⇨電池交換6ページ参照

パチパチと放電していても温度センサー付バーナーは使えなくなります。
(操作ボタンから手を離すと消火)

- 電池が消耗してくると温度センサーが作動しなくなるので安全のため、操作ボタンを押したとき点火しても、手を離すと消火するようになります。操作ボタンを押し続ければ点火していますが故障の原因となりますのでおやめください。
- そのまま電池が消耗するとチャオバーナーも点火しなくなります。
- 電池交換サインは温度センサー付バーナー使用中のときのみ作動します。
  電池がすっかり消耗してしまったときはサインは点灯しません。

点検とお手入れ

点検とお手入れはガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。(機器が冷えるまで時間がかかります。)

- 日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。
- 「故障かな？と思ったら」(16ページ)を参照していただき、処置に困る場合はお買い上げの販売店かお近くの大阪ガスにご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。
- 安全にお使いいただくために定期的に点検を受けられることをおすすめします。(有料)

＊点検は常時行ってください。

点検項目	点検方法	参照ページ
機器のまわりに可燃物等はありませんか？	機器のまわりに可燃物や障害物がないようにしてください。	3・7
各部品は正しくセットされていますか？	バーナーキャップ、しる受け皿、ごとくなど左右前後正しくセットされているか確認してください。	6
ゴム管は正しく接続されていますか？ 古くなっていませんか？	赤い線までしっかり差し込み、ゴム管止めで止めてください。 古くなるとひび割れしたり、差し込み口がゆるくなります。早めに取り替えてください。	8
ガス臭くありませんか？	ガス栓を開け、ゴム管の接続部からガスの臭いがしないことを確かめてください。	16
乾電池は消耗していませんか？	温度センサー付バーナーの操作ボタンを押してください。電池交換サインが点灯したときは新しい乾電池と交換してください。 ＊乾電池の寿命は通常の使いかたで約1年です。ただし、付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。	6・13
汚れていませんか？	煮こぼれなどで機器が汚れているときはお手入れしてください。 温度センサーを押してみてスムーズに上下に動くか確認してください。汚れが詰まっていると動きが悪くなり、温度センサーが正しく働かない場合があります。	14・15

- お手入れの際は手袋をするなどして、ケガのないように気を付けてください。
- 機器や取りはずした部品は落さないように気を付けてください。ケガや故障の原因になります。
- お手入れの後は各部品正しくセットされているか確認をしてください。(8ページ参照)

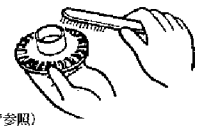
お手入れには台所用中性洗剤をお使いください。

おねがい
シンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。機器損傷の原因になります。印刷・塗装面にはみがき粉、たわしなどの固いものは使わないでください。表面を傷付けます。

点検とお手入れ

バーナーキャップ

炎が不ぞろいになったときはあなやみぞを柔らかめのブラシまたはスポンジなどで掃除する



●表面の黒い部分はスポンジなどの柔らかいもので台所用中性洗剤を使用して洗ってください。
万一、黒い部分がはがれてもそのままお使いになれます。
＊目づまりをすると点火不良や不完全燃焼の原因になります。
●お手入れの後は浮き・傾きのないようにセットしてください。(6ページ参照)

⚠注意　水洗いしたときは、水気を十分ふき取る
➡水滴がバーナーに落ちて目づまりし、点火不良になることがあります。

ごとく、しる受け皿

汚れたときは台所用中性洗剤で水洗いし、水気をふき取る

＊汚れたままにしておくと早くいたみます。

●お手入れの後は正しくセットしてください。(6ページ参照)

トッププレート

汚れたときは乾いた布で汚れをふき取る

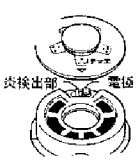
●汚れの落ちにくいときは台所用中性洗剤でお手入れし、乾いた布でふき取ってください。

＊汚れはそのつどお手入れしてください。そのままにしておくと、汚れが落ちにくくなります。

炎検出部、電極

汚れや水分が付いたときはやわらかい布でふき取る

＊汚れや水分が付いていると点火しにくくなります。



おねがい
取り付け位置を動かしたり、キズを付けないでください。

温度センサー

温度センサーが汚れたときは温度センサーに片手を添えて水気を固くしぼった布で汚れをふき取る

＊汚れが付いていると温度センサーの感度が悪くなります。

●温度センサーは側面の汚れもふき取ってください。

⚠注意
温度センサーを押してみてスムーズに上下に動くか確認する
➡温度センサーの動きが悪いと機能が正しく働かない場合があります。お手入れしても動きが悪いときはお買上げの販売店かお近くの大阪ガスまでご連絡ください。

おねがい温度センサーにキズを付けないでください。故障の原因になります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。
下記の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店かお近くの大阪ガスまでご連絡ください。

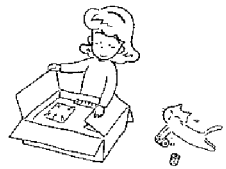
現　象	原　因	処置方法	参照ページ
点火しない 点火しにくい 使用中に消火する	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	9
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する	6・13
	乾電池または電池ケースの取り付けが悪い	正しくセットする	6
	ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がりを直す	8
	ゴム管・ガスコードの接続不十分	ゴム管・ガスコードを確実に接続する	8
	バーナー炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナーキャップのお手入れをする	15
	バーナーキャップのセット不良	正しくセットする	6
	しる受け皿のセット不良	正しくセットする	6
	ゴム管内に空気が残っている	点火操作を繰り返す	9
	点火操作が不適切	操作ボタンを押す時間を長くする	9
	炎検出部・電極が水ぬれしたり汚れている	炎検出部・電極のお手入れをする	15
	アルミ箔のしる受け皿を使っている	アルミ箔のしる受け皿を使わない	5
	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	−
	温度センサーとなべ底が正しく接触していない	温度センサーとなべ底を正しく接触させる	12
	天ぷら油過熱防止機能が働いた	機能が働いたときの処置方法を参照する	11
電池交換サインが点灯する	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する	6・13
黄色の炎で燃える 炎が安定しない 異常な音をたてて燃える	バーナー炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナーキャップのお手入れをする	15
	バーナーキャップのセット不良	正しくセットする	6
	しる受け皿のセット不良	正しくセットする	6
ガスのいやな臭いがする	ゴム管・ガスコードの接続不十分	ゴム管・ガスコードを確実に接続する	8
	ゴム管のひび割れ、穴あき	新しいゴム管と交換する	8
	バーナーキャップのセット不良	正しくセットする	6

故障ではない場合	理　由
点火・消火のときに「ポッ」という音がする	点火音・消火音で異常ではありません。
使用中「シャー」という音がする	ガスの通過音で異常ではありません。

保管とアフターサービス

■保管（長期間使わないとき）

①ガス栓を閉め、ゴム管をはずす
②ごみ・ほこりが入らないようにビニールやテープ等でゴム管口をふさぐ
③汚れを取り除く（14・15ページ参照）
④乾電池を取りはずす
⑤箱またはビニール袋等に入れて、湿気やほこりの少ないところに保管する



■アフターサービスについて

サービスのお申し込み

●まず前ページ「故障かな？と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店かお近くの大阪ガスにご連絡ください。
●アフターサービスをお申しつけのときは次のことをお知らせください。
1. ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印等）
2. 品名‥‥ガステーブルコンロ
3. 品番‥‥10－866／867型
（下のようなラベルが機器の左面下部に貼り付けてあります。）

(N) 10－866 (U)	(N) 10－867 (U)
大阪ガス株式会社 07	大阪ガス株式会社 05

4. 現象‥‥できるだけ詳しく
5. 訪問ご希望日

転居される場合

●ガスの種類には都市ガス7種類とLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い上げの販売店か、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
＊ただし、ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

補修用性能部品の最低保有期間について

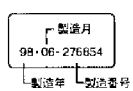
●無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理いたします。
●補修用性能部品＜性能を維持するための必要な部品＞の最低保有期間は、製造打切後6年です。但し、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

保証について

●このガステーブルコンロには保証書がついています。
●保証書に記載のようにガステーブルコンロの故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
●保証書を紛失されますと、無料保証期間内でも修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
●本製品は一般家庭用です。使用頻度の高い業務用で長時間使用の場合は、保証期間内でも有料修理になります。

製造年月について

製造年月は本体右側面貼付けの銘板でお確かめください。



別売部品のご紹介

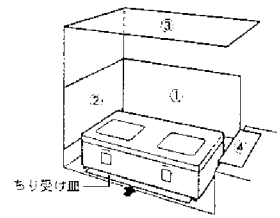
次のような別売部品を用意しています。
お買い上げの販売店かお近くの大阪ガスサービスショップ、大阪ガスでお求めください。

防熱板

●大阪ガス指定の防熱板以外は絶対に使わないでください。
●防熱板は4種類（下記表参照）用意しております。

別売防熱板の種類（ステンレス製0.5㎜）			
	コード番号	高さ(㎜)	幅(㎜)
①	15－100－0206	350	600
②	15－100－0205	350	595
③	15－100－0207	550	900
④	15－100－0105	15	400

防熱板の取り付けは別売品の防熱板取付説明書に記載されています。取付説明書に従って正しく取り付けてください。



ちり受け皿

（コード番号：15－100－0080・15－100－0063）
器具の下、置台の上に設置して使用してください。

ガスコード

器具用スリムプラグ	81－359
ホースガス栓用プラグ	81－450

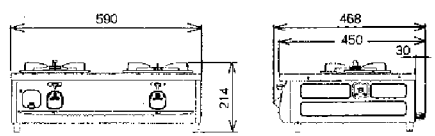
ガス種	ホースサイズ	長さ(m)	コード番号
13A	φ6	1.0	80－461・80－561
		0.7	80－480・80－580
	φ8	1.0	80－481・80－581
		2.0	80－482・80－582
		3.0	80－483・80－583
		5.0	80－485・80－585
LPG	φ7	0.6	80－270
		1.0	80－271
		2.0	80－272
		3.0	80－273

仕様

品番	10－866		10－867
型式名	PA-2200CEB-L		PA-2200CEB
種類	ガスこんろ		
点火方式	連続放電点火方式		
外形寸法(機器最大)	高さ214×幅590×奥行468㎜		
質量（本体）	6.8kg		
ガス接続	φ9.5㎜ガス用ゴム管またはガスコード		
安全装置	立消え安全装置・調理油過熱防止装置(天ぷら油過熱防止機能)		
使用ガス ガスグループ	ガス消費量		
	チャオバーナー	標準バーナー	全点火時
都市ガス用13A kW(kcal/h)	4.65 (4000)	2.67 (2300)	7.21 (6200)
LPガス用 kW (kg/h)	4.34 (0.31)	2.46 (0.176)	6.72 (0.48)

☆本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

寸法図 単位：㎜



新製品の知識

ガステーブルコンロ

(N)(P)10−866(U)型(左チャオ)

(N)(P)10−867(U)型(右チャオ)

1998年6月

大阪ガス株式会社

商品開発部